第１１号議案

県連提出議題

Ⅰ　発表会・競技会

１．プロジェクト発表会

（１）プロジェクト発表会の運営方法について【千葉県連盟】

（提案理由）

プロジェクト発表について、エントリーシートの簡略化や、Ｄ－Ｓｕｂ端子からＨＤＭＩへの規格の変更ができないか。現在普及しているノートパソコンにＤ－Ｓｕｂ端子が付いていないケースが多くなってきていることや、プレゼンデータの巨大化などが変更理由としてあげられる。ＨＤＭＩに切り替える場合、縦横比率の見直しやプロジェクターの更新も検討するべき。

（回答）

エントリーシートにつきましては、現段階では実施基準に掲載の様式のものを使用にするということでご理解をお願いします。また、ご指摘いただいております入力方法につきましては、継続的に検討しているところです。今回いただいたご意見は、今後の実施基準の改定に向けた検討材料としていきます。

（２）プロジェクト発表活動記録簿表紙の様式について【愛媛県連盟】

（提案理由）

　　　平成２８年度から追加された、プロジェクト発表の活動記録簿のＡ４ファイルの表紙の1行目の文言（日本学校農業クラブ〇〇大会）について、全国大会・四国大会・県大会で統一してほしい。勝ち進むたびに作成しなおし、貼り替えなければならないため。

　　例　「日本学校農業クラブ全国大会」を削除して、「日本学校農業クラブ」や「ＦＦＪ」などにする、もしくは削除する。

（回答）

都道府県大会、ブロック連盟大会における基準につきましては、各都道府県連盟、各ブロック連盟において定めることが可能です。各都道府県連盟、各ブロック連盟において「全国大会」と表記された様式でも良いかご検討いただければと思います（ご参考までに関東ブロック連盟は本年度、全国大会の表記で実施されておりました）。

２．意見発表会

意見発表会の質疑応答について【宮城県連盟】

（提案理由）

　　発表者の発表後に質疑応答がある。それは、「クラブ員からの質問はありませんか？」とアナウンスが入り、クラブ員からの質問がなければ審査員から２問質問がされる。過去１０年、クラブ員からの質問は１度もないと、全国大会南東北大会の運営準備の際に伺った。運営時間の短縮とその時まで質問が１問になるのか、２問になるのか予測がつかないのは、運営する生徒実行委員や審査員に大きな負担がある。余裕をもって運営及び審査するためにも、クラブ員からの質問は削除したいと考えます。

（回答）

発表を聞いたクラブ員が質問したくなるのは、意識が高くなればなるほど自然な事であり、正式な場で質問できる機会を無くすのはいかがなものでしょうか。そもそも、クラブ員たちの大会なので、数が少なくても質問を受け付けるのは大切なことだと思います。また、現状では質問は少ないことからほぼ審査員の質問が２問ずつとなり、進行や審査員の負担はほとんど無いと思われます。いずれにしても、マニュアルをよく練習し把握していれば負担は軽減するのではないでしょうか。

３．プロジェクト発表会・意見発表会

（１）プロジェクト発表会・意見発表会の運営方法について【千葉県連盟】

（提案理由）

農業クラブ研究発表大会県大会やブロック大会において全国統一の基準で実施することはできないのか？

（回答）

それぞれの地域の事情もあろうかと思いますので、各都道府県連盟やブロック連盟の定める基準で実施してください。

（２）プロジェクト発表会・意見発表会の運営方法について【千葉県連盟】

（提案理由）

ブロック大会において１位～３位まで決めているブロックや最優秀賞以外はすべて優秀賞などやり方が様々で、しっかりと統一されていないため、大会が盛り上がりにかけ、また世間の認知度や関心が低くなってしまっているのではないかと思います。

（回答）

それぞれの地域の事情もあろうかと思いますので、ブロック連盟の定める基準で実施してください。必要に応じて、表彰形式や効果的なPR方法について、ブロック連盟の会議等にて提案・協議してみてはいかがでしょうか。

４．平板測量競技会

　　なし

５．農業鑑定競技会

（１）農業鑑定競技会の基準について【青森県連盟】

（提案理由）

　　昨年度、日連から「『共通』と『他の専門分野』で同じ範囲がある場合は、専門性の高い用語に合わせる」という旨の回答が出ました。そもそも、共通に出題する範囲ならば、専門分野から外すべきだと考えますが、日連および他の都道府県連盟ではどのようにお考えですか。（昨年度、『共通』にあった「給じ器」と『畜産』にあった「給餌器」に関して、今年度の実施基準で共に「給餌器」とした経緯に関連して。『共通』の中項目「ニワトリ」「ウシ」は、『畜産』の同項目および別項目と重複している範囲が多いことをどう捉えるか。）

（回答）

各分野の大項目は農業科の各科目となっています。よって各科目で学習内容が重複している場合は、出題の範囲が重複することも出てきます。農業鑑定競技は、各科目の学習内容を各分野の出題の範囲とすることを基本としているので、分野間で出題の範囲に重複があったとしても、どちらかからその項目を外すという考え方はありません。

（２）各都道府県における農業鑑定競技会について【千葉県連盟】

（提案理由）

農業鑑定競技において、県大会の実施県や未実施県がある。実施・未実施においても都道府県ごとに差がない方が良い。

（回答）

　　都道府県連盟によってさまざまな事情がありますので、農業鑑定競技の県大会については、各都道府県連盟に実施・未実施の判断をしていただいています。

（３）鑑定競技の得点を開示するよう全国大会実施基準を改定していただくようお願いする。【愛媛県連盟】

（提案理由）

　　昨年も提案し、代議員会報告を読みましたが、再度提案させていただきます。成績の開示というのは、様々な試験や検定において大きな流れとなっていると感じる。特に２年生で出場した生徒にとっては次の年に向けて参考としたい項目であると考える。「個別に自分の得点を教えてもらえるシステム」または、「県連・学校単位で得点がわかるシステム」等が大会運営上可能であれば是非お願いしたい。

（回答）

試験や検定における成績開示の流れが広がりつつあるというのは、ご意見の通りであると思います。しかし、「個別に自分の得点を教えてもらえるシステム」、「県連・学校単位で得点がわかるシステム」のいずれにしても、これらを大会運営業務の中に新しく組み込むのは、実施担当校に相当の負担が生じることが予想されます。今後このようなシステムの導入が可能かどうか実施担当校に検討をお願いしていくことはできますが、現段階では難しいと考えています。これまで通りとなりますが、正答表による自己採点と大会報告書を参考に、結果の分析をしていただくことをお願いします。

６．家畜審査競技会

全国大会の家畜審査競技会について【栃木県連】

（提案理由）

現在、家畜審査競技会は公開種目とされており、全国大会で開催される年とそうでない年があります。防疫の関係上、難しいかもしれませんが、毎年家畜審査競技会も全国大会があれば県大会に参加するクラブ員の意欲向上に繋がると考えます。

（回答）

　　ご指摘のとおりです。しかし、家畜審査競技会は担当校における運営のみならず、畜産経営者をはじめ、都道府県の畜産主務課及び畜産関係機関等の支援がなければ実施することのできない競技会でもあると考えています。併せて、今後の家畜伝染病の発生等を勘案すると、直前になって、競技会が実施できないとなるケースも十分に想定され、開催の判断は開催都道府県（地域）に任せざるを得ない状況になっています。

Ⅱ　全国大会

全国大会参加費について【千葉県連盟】

（提案理由）

生徒のみで県外への大会参加ができない以上、教諭等の引率が必須のはず。そのような状況下で、大会参加費を引率する農業クラブ指導教師等から徴収することは、見直すべきではないでしょうか。

（回答）

全国大会は、担当する都道府県の全国大会事務局が予算内で賄うことのできる範囲にて運営されております。全国大会事務局が、「引率者からの参加費徴収は不要」と判断するのであれば、徴収する必要はありません（日連から全国大会事務局に対し、徴収の指示や金額の提示はしておりません）しかしながら、現実として、引率者からの徴収無しで全国大会を開催・運営することは厳しいのではないかと考えています。

Ⅲ　日連運営

（１）ＦＦＪの歌編曲バージョンアップについて【北北海道連盟】

（提案理由）

　　今年、某ＴＶでも話題になったＦＦＪの歌の原曲をアレンジし、全国の新たなスタンダードにすることを検討してほしい。理由として、農業高校や農業クラブに注目を浴びる中で、伝統を受け継ぐことは大切なことではあるが、原曲をアレンジして、農業高校生や農業高校卒業の著名人の歌リレーなどのプロモーションを作成し、全国に広めていくよいきっかけになると考えます。

（回答）

「FFJの歌」を用いて、全国の農業クラブの活性化につなげることは大変素晴らしい事です。工夫して活用していただく事で、大きな効果を生むものと考えられます。なお、「FFJの歌」には著作権がございます。お取り扱いは慎重に願います。

（２）ブロックの見直しについて【千葉県連盟】

（提案理由）

ブロックによっては、県の数やクラブ員数にもかなりの違いが生じているため、考えていかなくてはならないのではないかと思います。例えば、なぜ静岡県が関東ブロックなのか？通常の分配であれば静岡県は東海地方の区分ではないでしょうか。

（回答）

当ブロック区分は、全国農業高等学校長協会、また、公益財団法人全国学校農場協会、全国高等学校農場協会に適用されております（常任理事等の選出等）。ご存じのとおり、日本学校農業クラブ連盟は、全国農業高等学校長協会の下部組織に当たります故、農業クラブ独自のものに変更することはできません。ご理解願います。

また、地域区分の方法には多様な方法が存在していますので、静岡県を東海地方に含めるか否かについての判断は難しいと考えます。

（３）環境調査の過去の調査結果との比較について【千葉県連盟】

（提案理由）

　日連の調査報告によると、在来種が減少傾向・在来種が多い生息地域などが報告されている。しかし、具体的な数字や過去のデータと比較したものが載っておらず、過去の調査と比較して、在来種の個体数や減少数が数字で明らかになっていると、今後の調査に活かすことができると思います。現在のタンポポ調査を、学術的な観点から調査方法が成り立っているのかなど、外部識者の見解・助言をいただきたい。

（回答）

　　各県連から提出いただいている環境調査の報告データは、年によって報告件数や提出県連数、調査実施時期等が一定ではないことから、単純な比較は難しい状況となっています。しかしながら、在来種・外来種の全国的な生息状況の割合（分布比）のおおまかな傾向については、その推移を見ることが可能ですので、令和元（2019）年度の報告書に掲載いたしました。ご参照いただければと思います。

　　学術的観点から調査方法が成り立っているのかというご指摘については、日連の集計作業時においても疑問を感じるところのある課題です。在来種の開花時期である４～５月の調査実施が不十分であること、種別の正確な見分けに疑問があること、発見された個体数の未記入や３次メッシュコードの誤記載が多いことなどから、「調査の手引き」や「個人調査票」の見直しなど、調査を正確に実施していただくための改善を進めているところです。今後、ぜひ外部識者にも助言を求めていきたいと考えております。

Ⅳ　その他

（１）県連行事の現状について【愛知県連盟】

（提案理由）

　　愛知県では少子化に伴い、高校の統合が進んでおり、農業高校も単独校ではなく、総合学科へと移り変わっていく傾向にある。その傾向は農業クラブの行事を行っていく上で単独校への行事の偏りが問題視されていることから全国農業クラブではどのような対応や対策、工夫があるかなどを持ち寄りたい。

（２）学校間交流について【広島県連盟】

（提案理由）

　　総会や幹部講習会において，他校の農業クラブ員と交流を持つことはできるが，一部に偏ってしまう。

６校一同ではなくとも，学校間の交流を持ち，クラブ員同士が刺激を受けあうような機会がほしい。

IoTやSNSを活用して，離れた地でも交流できるような仕組みも考えることができると思う。

（３）農業クラブの情報発信と活性化について【熊本県連盟】

（提案理由）

　　現在、少子高齢化が進み、若い世代の農業従事者が減少している。その一方で、土地や資金を独自に調達し、新たに農業経営を開始した「新規参入者」は概ね増加傾向にある。さらに、農業に興味を持ってもらうために、ホームページやメディアや広報ツールをつかって、農業高校卒業者の成功体験談の紹介を行い、農業経営の将来性をアピールする。

（４）持続可能な開発にちなんだ農業教育について【熊本県連盟】

（提案理由）

　　２０１５年に国連サミットで採択されたSDGsにちなんだ持続可能な開発のための活動として農業高校ではどのような活動ができるのでしょうか。

（５）スマート農業の取り組みについて【熊本県連盟】

（提案理由）

　　現在、農業分野にもIT、AI、Iotなどのコンピュータを導入した農業が試みられている。実際農業現場でもそれによる省力化、効率化が認められ多くのスマート農業の技術導入が期待されている。農業高校でもこれに遅れることなく、技術の目的や背景を理解し、導入できる部分は導入していきたいと考えられるからです。

（６）農業クラブ活動の更なる活性化について【熊本県連盟】

（提案理由）

　　各学校で実践されている取り組みや、地域ぐるみでの活動などについてアイデアをいただきたい。

（７）熊本県大会に向けての取り組みについて【熊本県連盟】

（提案理由）

　　令和5年に熊本県で全国大会が行われる予定ですが、各クラブ単位での取り組みや計画は今後考えられていくのではないかと思いますが、熊本県の農業クラブとして各学校で共通した取組等はできないか

（８）農業高校の魅力発信について【熊本県連盟】

（提案理由）

　　農業高校では各校様々な行事や農業高校フェア等の取り組みを行っていますが、農業高校および農業の魅力について更なる発信（アピール）する良い方法はないか

（９）全国における県連担当校の状況について【鹿児島県連盟】

（提案理由）

　　鹿児島県においても各高校の統合に伴い，現在４校で県連事務局の担当を行っており，運営の在り方等については今後の課題として挙げられている。各都道府県においても，同様の課題があると考えられるが，どのような対策等がとられているか，また，より良い運営方法等があれば教えていただきたい。

（10）農業クラブの活性化について【鹿児島県連盟】

（提案理由）

　　農業クラブの活動について，生徒はもちろんだが，職員の方もどのように取り組めばよいのか不透明感がある。近年は，プロジェクト発表や意見発表においては区分の大きな見直しがあり，鑑定競技でも，分野の削減等があり，それを理解できていない人も多くいると感じる。

　　そのようなときに，鹿児島県として，同じベクトルで進められるように学習マニュアル等があると職員も少しは手を付けやすいように感じる。

（回答）【上記、Ⅳ　その他（１）～（10）に関して】

　貴重なご意見・ご提案ありがとうございます。今回の春季代議員会では、対面での意見交換・協議ができませんが、今後、様々な形で各都道府県連盟の皆さん同士で交流していただき、課題の共有や情報交換をしていただけるとよいと考えています。